

つくば市議会だより

～ 議会をもっとみぢかに～

2026

5.20

No.191

P01
議会カフェ

INつくば市役所

P03
つくばの予算まるわかり!

P05
議決結果一覧

P07
議案審議解説

P10
主要施策 &
会派代表質問

P13
一般質問

P18
議会トピックス

議会カフェ開催

IN つくば市役所

【議会カフェとは？】

市民の皆さんのご意見を市政に反映するため、つくば市議会が毎年開催しているワークショップです。



令和8年1月24日（土）、つくば市役所コミュニティ棟において、令和7年度議会カフェを開催しました。
当日は、事前に設定した4つのテーマについて、それぞれ2チーム、合計8チームに分かれてワークショップを行いました。

【今回のテーマ】

- ① 地域防災
- ② 子どもの居場所づくり
- ③ ごみ減量のための取組
- ④ 道路の整備と管理

各チームでは、議員がファシリテーターとなり、テーマに関する市政の課題を洗い出すとともに、それぞれの課題に対する改善策を検討し、まとめシートに整理しました（写真1）。
その後、各チームの代表者がまとめシートの内容を全体に発表しました（写真2）。



写真1

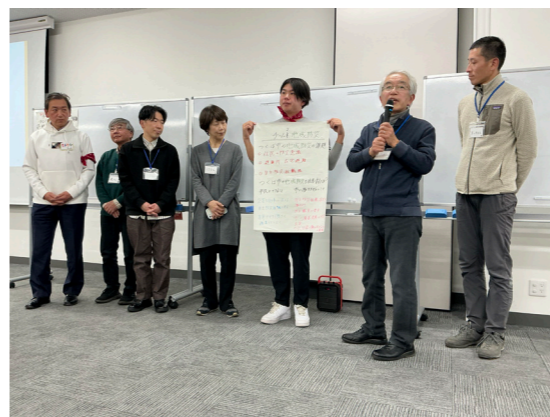


写真2

議会カフェで作成いただいたまとめシートの内容は、後日報告書として取りまとめ、令和8年3月2日および同月4日に、五十嵐市長およびつくば市議会の4常任委員長に提出しました（写真3・4）。

今後、各常任委員会において、報告書の内容を踏まえ、視察先や集中審議事項の選定、所管事務調査の実施などを行い、その結果を令和8年度議会報告会で報告します。

【詳細は市議会HPへ】

当日の様子やまとめシート・報告書の内容、参加者の年齢構成、満足度アンケート結果などの詳細は、市議会HPおよび報告動画をご覧ください。

市議会HP



報告動画



写真4

写真3



つくば市の 予算が決まるまで

予算とは、1年間の収入と支出の見積もりです。市長が予算案を作り、市議会で議論して決まります。令和8年度予算案は、令和7年定例会令和8年2月定例会議で議論されました。

予算上程・市長説明

予算案が議会に提出され、市長が予算の説明を行います。

予算質疑

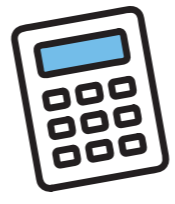
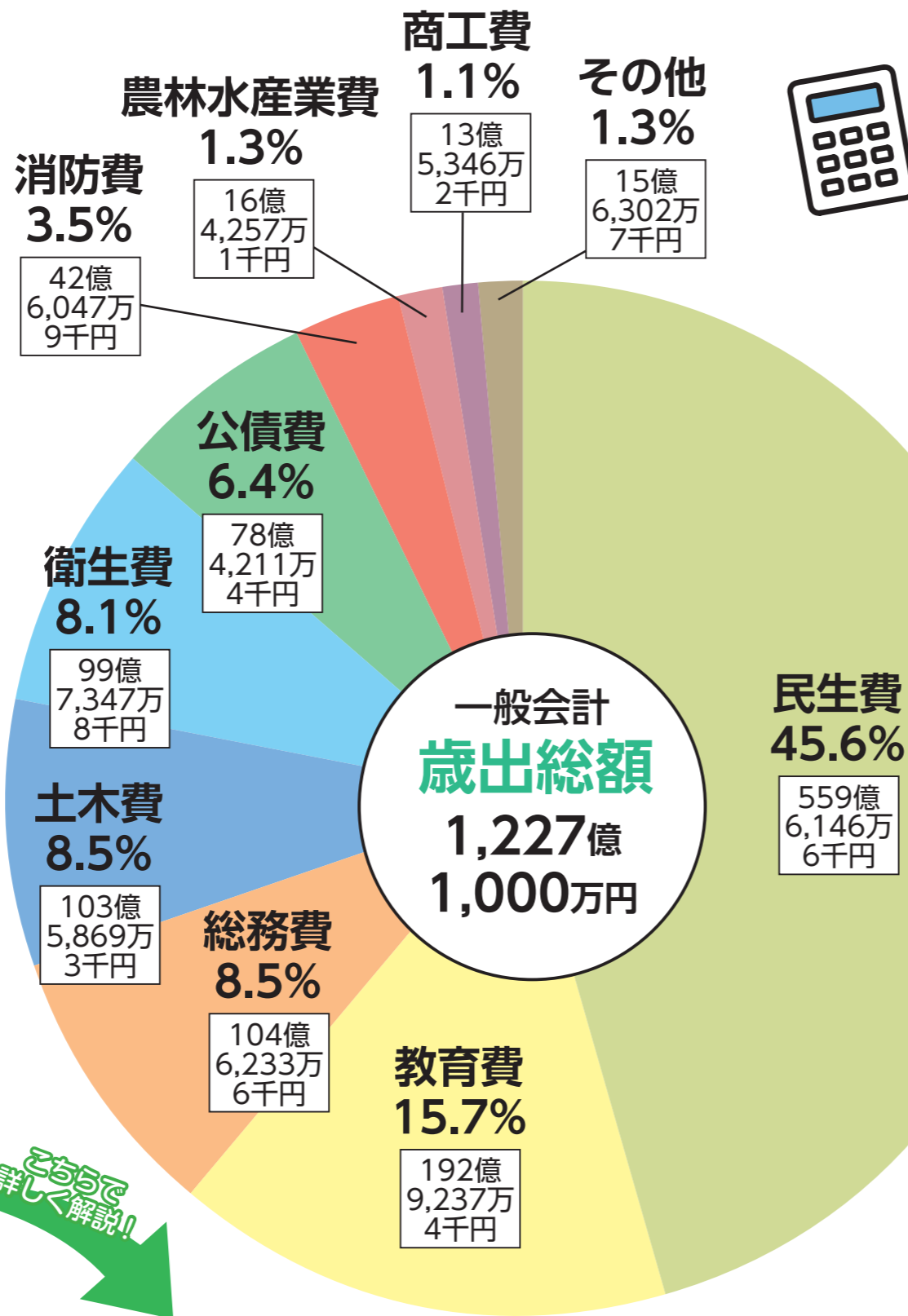
予算案に対して、議員が質疑をし、市長などがこれに答えます。

委員会審査

予算決算委員会4分科会(総務文教・福祉保健・市民経済・都市建設)を開き、予算案を専門的に詳しく審査します。その後、予算決算委員会の全体会において最終審査を行います。

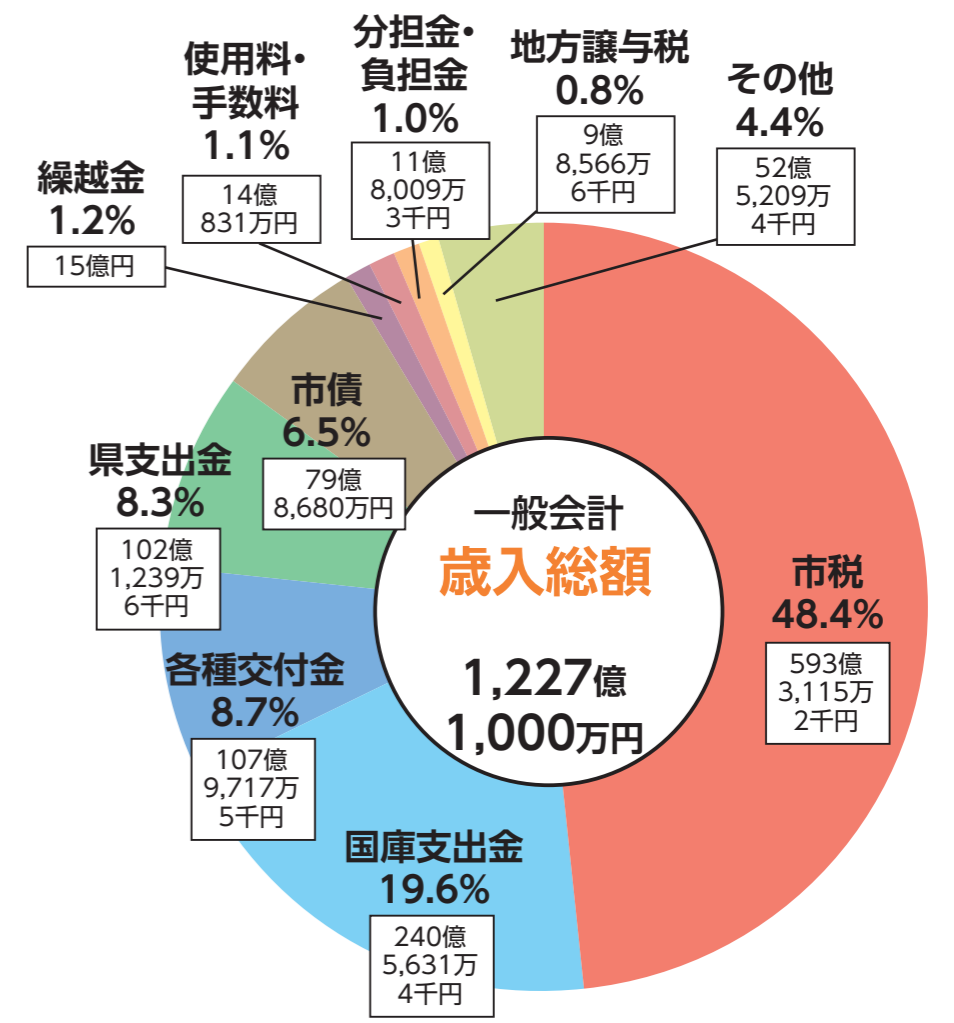
議決

本会議を開き、予算案に賛成か反対かの意思決定を行います。本会議で議決されると、予算が成立します。



ズバリ! つくばの 予算まるわかり!

大切な税金の使い道を4つの予算決算委員会分科会で専門的にチェック。予算審査の流れや、予算の内訳を詳しくお届けします!



- 市議会はこの点をチェック! 予算審査の4つのポイント**
- ① お金の使い道に「変化」は? 前年度と比べ、予算額が大きく増減した事業や予算が削除・新規追加された事業についてその理由や市民ニーズに合っているかをチェック
 - ② 市の「目標」に合っているか? つくば市の未来構想、戦略プランおよび市長公約事業のロードマップに掲げる目標に向けて、適切に予算が配分されているかをチェック
 - ③ 持続可能な「財源」か? 予算の財源について、国や県からの補助金を活用できているか、安易な財政調整基金(貯金)の取り崩しや将来に負担を先送りする過度な市債発行(借金)がないかをチェック
 - ④ 予算に見合った「成果」は見込めるか? 支出によって「市民の暮らしがどう良くなるか」についての具体的な目標設定や、その金額が必要な理由(積算根拠)の妥当性をチェック

市民の皆さんの暮らしを支える事業に、どれだけの費用を投じるかを決定するのが「予算」です。また、市に入ってきた税金などが適正に使われたかを確認するのが「決算」です。つくば市議会では、これらを一体的かつ専門的に審査するため、議長を除く全議員で構成される「予算決算委員会」を設置しています。

毎年2月定例会議にて行われる予算の審査では、4つの「分科会」(総務文教・福祉保健、市民経済、都市建設)において、それぞれの所管事項の予算について詳細な審査が行われます。その後、予算決算委員会全体会での審査を経て、本会議での議決を行います。



←議案の審議状況
議決結果



←請願一覧

★：賛否が分かれた議案など

議決日

議案第117号 ★	つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第118号	つくば市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第119号	つくばカピオ条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第120号	つくば市建築物駐車施設附置条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第121号 ★	つくば市建築基準条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第122号	つくば市体育施設条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第123号	つくば市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第124号 ★	つくば市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	原案可決(3/25)
議案第125号	つくば市産業用地整備支援事業に関する条例について	原案可決(3/25)
議案第126号	つくば市企業立地促進奨励金の交付に関する条例について	原案可決(3/25)
議案第127号	つくば市立アルスホール条例について	原案可決(3/25)
議案第128号	字の区域の設定について	原案可決(3/25)
議案第129号	字の区域の設定について	原案可決(3/25)
議案第130号	市道路線の廃止について	原案可決(3/25)
議案第131号	市道路線の変更について	原案可決(3/25)
議案第132号	財産の取得について	原案可決(3/25)
議案第133号	令和7年度つくば市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(3/25)
議案第134号	令和7年度つくば市一般会計補正予算(第12号)	原案可決(3/25)
議案第135号 ★	つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第136号	財産の取得について	原案可決(3/25)
議案第137号	訴えの提起について	原案可決(3/25)
議案第138号	つくば市教育委員会委員の任命について	同意(3/25)
議案第139号	つくば市等公平委員会委員の選任について	同意(3/25)
議案第140号	つくば市オンブズマンの任命について	同意(3/25)
議案第141号	つくば市オンブズマンの任命について	同意(3/25)
議案第142号	つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(3/25)
委第3号議案	つくば市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
請願7第5号 ★	福祉部の生活保護不正を端緒とするつくば市役所の問題の完全解決を求める請願書	不採択(3/25)



令和7年定例会令和8年2月定例会議 議案等議決結果一覧

議案第95号	令和7年度つくば市一般会計補正予算(第10号)	原案可決(3/25)
議案第96号	令和7年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(3/25)
議案第97号	令和7年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決(3/25)
議案第98号	令和7年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(3/25)
議案第99号	令和7年度つくば市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決(3/25)
議案第100号	令和7年度つくば市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決(3/25)
議案第101号 ★	令和8年度つくば市一般会計予算	原案可決(3/25)
議案第102号 ★	令和8年度つくば市国民健康保険特別会計予算	原案可決(3/25)
議案第103号 ★	令和8年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(3/25)
議案第104号	令和8年度つくば市作岡財産区特別会計予算	原案可決(3/25)
議案第105号	令和8年度つくば市等公平委員会特別会計予算	原案可決(3/25)
議案第106号 ★	令和8年度つくば市介護保険事業特別会計予算	原案可決(3/25)
議案第107号 ★	令和8年度つくば市水道事業会計予算	原案可決(3/25)
議案第108号 ★	令和8年度つくば市下水道事業会計予算	原案可決(3/25)
議案第109号	つくば市行政組織条例の一部を改正する条例について	原案可決(2/13)
議案第110号	つくば市環境審議会条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第111号	つくば市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第112号	つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第113号	つくば市一時預かり事業手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第114号	つくば市医療福祉費支給条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第115号 ★	つくば市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)
議案第116号	つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例の一部を改正する条例について	原案可決(3/25)

★ 議員賛否一覧 賛否が分かれた議案など、各議員の判断は？

	つくばクラブ								Nextつくば			Nextつくば				つくば・市民ネットワーク				公明党つくば			緑	ワ	新	つ	日	創
	伊藤文弥	小村政文	黒田健祐議長	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	木村清隆	塩田尚	田代優	市原琢己	樋口裕大	中村重雄	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	川田青星	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	梅沢尊信	篠内幸代	渡辺峰子						
議案第101号	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
議案第102号～議案第103号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第106号～議案第108号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第115号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第117号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第121号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第124号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第135号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
請願7第5号	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
※議決日に欠席した議員 なし

※会派名(議席番号順) 緑=緑会 ワ=ワニナルつくば 新=新・つくば民主主義の会
つ=つくばチェンジチャレンジ 日=日本共産党つくば 創=創生クラブ

総額約1,227億円の一般会計予算について 2つの修正案が出されるも原案の通り可決

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額を1,227億1,000万円とする。

継続費の設定 10件

債務負担行為の設定 76件

地方債の設定 53件

前年度比 △46億1,500万円(3.6%減)

【主な歳入内訳】

- 1 市税 593億3,115万2,000円
- 2 国庫支出金 240億5,631万4,000円
- 3 市債 79億8,680万円

反対の意見

本予算案は、過去最高の税収が見込まれながらも、市民生活を顧みない配分になっている。①公立保育所の廃止と人員削減、②陸上競技場の建設費膨張、③予算使途の優先順位の誤り、④学校給食費無償化における格差、⑤公共料金の負担増により、市民生活に寄り添った予算案となっていないため、反対する。

賛成の意見

行政窓口のデジタル化や、学校体育館などへのエアコンの設置、子育て・教育環境の整備、配偶者暴力相談支援センターの設置、自動運転バスのレベル4での運行を見据えたレベル2での有償運行、芸術文化創造拠点の整備など、市民第一の市政を実現し、「選ばれるまち」であり続けるための施策に重点的に予算が配分されており、市税の増収が行政サービスの向上に活用されていると評価すべき予算と考える。引き続き、持続可能な財政運営に期待し、賛成する。

反対の意見

予算全体を否定するものではないが、陸上競技場整備事業については、事業規模や整備の時期について慎重な判断が必要だと考える。令和3年には約22億円だったものが、現在は、解体費を含め約66億円規模と当初の予算の3倍規模となっている。全国的に計画の見直しや中断に至る事例が相次いでおり、市内工事が入札不調となるケースもあった。目的の一つである陸上記録会も、小学校ではコロナ禍以降は開催されておらず、中学校も年に1回程度であり、財源不足の中で事業を進めることについて慎重であるべきと考え、反対する。

賛成の意見

人口増に対応した学校施設の新築・増築、がん患者アピアランスケア支援助成金の創設、ごみ出し困難者への支援事業拡大、ユースセンター事業、地域包括支援センターの増設、中央公園のリニューアル、産業用地の計画的な創設など、誰一人取り残さないという理念の下、支援を必要とする方に確実に届く仕組みづくりが意識されている。市民の生活実感や安心感といった視点からも丁寧に検証し、量から質への転換が着実に進むよう、さらなる充実を図られることを期待し、賛成する。

予算決算委員会に提出された修正案

審査結果=原案を可決すべき
※修正案は否決された

修正案①

議会費 議会運営に要する経費のうちドイツ・ポーフム市への視察経費を削除

提出者 川村 直子 委員 川田 青星 委員
あさの えくこ 委員 小森谷 さやか 委員

修正案②

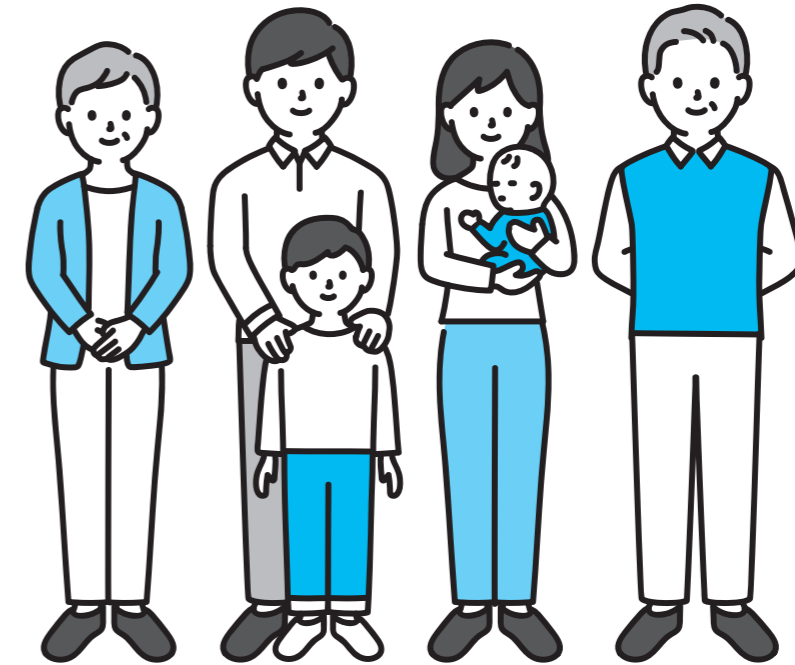
教育費 (仮称)つくば市陸上競技場整備に要する経費のうち、解体撤去工事を除いた経費を削除

提出者 飯岡 宏之 委員 田代 優 委員
市原 琢己 委員 樋口 裕大 委員
中村 重雄 委員 木村 修寿 委員
塚本 洋二 委員

議案
本文→



討論
録画→



本会議の
録画↓



議案審議解説

令和8年2月定例会議は2月13日から3月25日まで開催され、計50件の議案などについて慎重に審議を行いました。

議員の賛否が分かれたおもな議案の審議結果について解説します。

請願7第5号 福祉部の生活保護不正を端緒とするつくば市役所の
問題の完全解決を求める請願書

不採択

生活保護業務などに関する第三者委員会設置の請願 業務の是正状況などを踏まえ不採択

【請願事項】

- 1. 未解決の問題点の完全解決に向けた、真相究明のための第三者委員会設置を要求します。
- 2. 市議会として第三者委員会が実現しない場合は、同じく完全解決のための第三者委員会設置の是非を市民に問うインターネット投票の実施を要求します。

賛成の意見

令和6年度の県特別監査で虚偽報告の実態が明らかになった。市は全て改善済みとしたが、3週間後の県監査で未認識、未対応の問題が露呈した。さらに、500件以上の不適切な業務による診断書料支給の問題は、県監査での指摘まで市長への報告もされず、いまだプレスリリースもなく、問題意識の欠如は極めて深刻である。内部調査では真実は明らかにならない。第三者委員会で専門家による客観的な視点で解決すべきであり、請願に賛成する。

反対の意見

関係する文書料について、市は令和7年1月までに事務の是正を完了している。令和7年度の県監査で新たに認められたとされる500件超は、一部返還済みで、その他は遡及是正しないことで県から了承を得ており、少なくとも令和5年度分の104件は、令和6年の特別監査時に市から県に報告されていた。県への住民監査請求は棄却されており、職員の処分などは顧問弁護士の調査を待ち最終的な報告がなされる段階である。外部通報窓口は令和8年1月に開設され、通報も受けている。今回の問題は専門的な内容もあり、インターネット投票にはなじまない。以上から、請願に反対する。

請願
本文→



討論
録画→



令和8年度 主要施策 & 会派代表質問

会派代表質問とは？



新年度の「市政運営の所信と主要施策」について、市長をはじめとした執行部に対して質問することができる機会です。質問者は構成議員数が3人以上の会派の代表者に限定されています。



令和8年2月13日、五十嵐市長が本会議場において「令和8年度市政運営の所信と主要施策」について述べました。
この内容について、令和8年2月27日、会派代表者質問が行われました。

～令和8年度の主要施策～

詳細はこちら▶
市政運営の所信と主要施策の概要



1 徹底した行政改革

- ▶スマートヘルスケア推進事業
- ▶行政窓口のデジタル化
- ▶生活保護AI相談システムの導入
- ▶データ活用推進事業
- ▶庁内ネットワーク基盤整備事業

2 安心の子育て・教育

- ▶ブックスタート事業
- ▶つくば市プレスクール・プレクラス
- ▶小規模特認校制度の導入
- ▶学校施設整備事業（香取台小学校増築、吾妻小学校建設） など

3 頼れる福祉

- ▶地域包括支援センターの運営（新規センターの開設を含む）
- ▶児童発達支援センター整備事業
- ▶がん患者アピアランスケア支援助成金の創設
- ▶大学等受験料及び模擬試験料補助金の創設 など

4 便利なインフラ

- ▶自動運転バス実証事業
- ▶スマートモビリティ推進事業
- ▶シェアサイクル「つくチャリ」事業
- ▶道路・街路維持管理事業
- ▶中央公園リニューアル事業 など

5 活気ある地域

- ▶森林バンク事業
- ▶産業用地創設事業
- ▶区域指定追加策定事業
- ▶アーバンスポーツ施設整備事業
- ▶（仮称）つくば市陸上競技場整備事業 など

6 誇れるまち

- ▶地酒振興事業
- ▶道の駅整備推進事業
- ▶芸術文化創造拠点整備事業
- ▶新図書館検討事業
- ▶生物多様性つくば戦略推進事業

議案第102号 令和8年度つくば市国民健康保険特別会計予算

原案可決

子ども・子育て支援納付金について異議出るも国民健康保険特別会計予算について原案可決

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額を192億4,689万5,000円とする。
前年度比 3億3,865万7,000円(1.8%増)

関連議案

議案第135号

つくば市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金課税額について定めるとともに所要の改正を行うもの

[主な改正の内容]

・子ども・子育て支援納付金分の保険税率などを設定する。

反対の意見

子ども・子育て支援納付金という名目の増税を含めた予算である。軍事予算を暮らし、子育て、教育に回すべきであるし、自治体職員の負担を増やすやり方も繰り返されている。物価高の中、暮らしをさらに追い詰めるもので、反対する。

賛成の意見

被保険者数は減少する一方、医療費は年々増加傾向にあり、国民健康保険の事業運営は厳しい状況である。今回の予算において被保険者の健康づくりや、国民健康保険税の収納率向上、医療費適正化事業の推進などにより、国保財政の安定化が図られるものと考え、賛成する。

議案本文→



討論録画→



議案第103号 令和8年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算

原案可決

子ども・子育て支援納付金について異議出るも後期高齢者医療特別会計予算について原案可決

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額を37億3,235万2,000円とする。
前年度比 6億2,768万2,000円増(20.2%増)

反対の意見

子ども・子育て支援納付金の徴収方法に異議がある。特に、後期高齢者医療特別会計の予算案では、国民健康保険と違い、子ども・子育て支援納付金という費目すらなく、後期高齢者医療保険料負担金の中に丸められており、議員でもチェックしにくい状況である。2割の窓口負担軽減措置がなくなったばかりで、特に年収200万円を少し超えるくらいの方々には、大きな負担になっている。物価高に苦しむ一般市民から批判を避ける形で収奪するやり方に納得できず、反対する。

賛成の意見

後期高齢者医療制度は、急速な高齢化により医療費が増大する中、世代間の負担の公平を図り、将来にわたり持続可能な保険制度を支える重要な制度である。今後も、必要な財源を確保し安定した制度運営を行うことが、後期高齢者に対する適切な医療の確保と健康の保持、増進につながると考える。令和8年度当初予算には、高齢者が安心して医療を受けられるよう、制度を安定的に運営していくための必要な予算が計上されていることから賛成する。



議案本文→



討論録画→



公明党つくば
わたなべ みねこ
(質問者) **渡辺 峰子**
渡辺 峰子(代表)・篠内 幸代
梅沢 尊信

絵本で広がる子育て支援

(質問) ブックスタート事業を単なる配布に終わらせず、養育不安の早期把握や相談支援へつなげる仕組みとしてどのように活用していくのか伺う。

(答弁) ブックスタート事業については、保護者と子どもを対象に、ボランティアが読み聞かせを行い、絵本を開く楽しさの体験と絵本をセットでプレゼントするものだが、絵本を手渡す際に、子育てに役立つ情報や相談窓口などの子育て支援に関する情報提供などを併せて行うことも検討している。

(要望) ブックスタートは、絵本を渡すだけでなく、絵本を通して保護者が子どもと向き合うきっかけを社会が届ける取り組みである。読み聞かせの楽しさを伝え、家庭で本が開かれ続けるよう支えとともに、健診の機会を活かし、親子の不安や変化に気づき、支援につなげる仕組みとしての充実を期待する。



「ともに創る」市政の推進を!

(質問) 市民参加を一過性で終わらせず、政策形成に継続的に反映する仕組みづくりについて伺う。



(答弁) 市政の市民参加については、平成30年に策定したつくば市市民参加推進に関する指針に基づき推進してきた。具体的には、審議会などに参画する市民委員の増加、気候市民会議のような無作為抽出の市民による討議会やワークショップ、オープンハウスの実施など、市民参加が庁内に浸透してきている。今後も、政策形成過程から、より多くの市民の声を取り入れていく。

(質問) 「つくば市市民参加推進に関する指針」では、5年以内ごとに検証し、条例化も視野に入れるとされている。条例化の必要性をどのような基準で判断し、どのように検証するのか伺う。

(答弁) 条例化については、指針とその運用における成果と課題を整理するとともに、条例化による効果や影響などを検証した上で必要性を判断していく。検証の手法については、取り組みの実施状況の確認に加え、市民委員向けの意見交換会やアンケートなども活用し、多角的に行う。

(要望) 意見が政策にどう活かされたか、取り組みが継続しているか、市民との信頼が育まれているかを検証し、条例化の検討を着実に進めていただきたい。

つくば・市民ネットワーク
(質問者) **あさの えくこ**
川村 直子(代表)・小森谷 さやか
あさの えくこ・川田 青星

福祉申請は地域交流センターで

(質問) 現在多くの申請は本庁舎のみで行っているが、特に福祉関連の申請者は移動に困難がある市民が多く、本庁舎に何度も出向くことは負担である。手続きのための申請書は全てHPからダウンロードできることについて、また、地域交流センターに設置されているタブレットなどで担当課とつなぎ、記載方法を含めて相談できるようにすること、必要に応じて交流センター職員が代筆するといった施策を実施し、市内全地域の利便性を高めることについての考えを伺う。

(答弁) 地域交流センターの相談機能の強化としては、高齢者や障害者など移動が困難な方が、本庁舎へ出向くことなく、さまざまな相談や申請手続きなどが円滑に進むよう、関係部署との連携強化や人員の適正配置を含め、支援体制の充実を検討していく。



専門職職員の継続的な雇用を!

(質問) 市では多くの専門資格を持った職員が働いているが、その多くは1年ごとに「任用」される「会計年度任用職員」という不安定な就業形態である。市としても、専門的な知見が蓄積されず、市民の利益が損なわれる可能性がある。専門職職員に関して正規採用することについて市の見解を伺う。

(答弁) 正規の常勤職員が担うべき業務かどうかについては、その職務内容、責任の度合い、継続性などを総合的に判断する必要がある。今後も、これらを十分に検討した上で、常勤の専門職採用を進めていく。

(質問) 会計年度任用職員に対するアンケートでも3年以上の勤務を継続する職員が多い。3～5年の任期付職員として採用することを検討されたいか伺う。

(答弁) 専門職採用については、正規職員としての必要性や各部署からの意見を踏まえ、さまざまなニーズに応えるため、任期付職員の検討を含め、適切な採用形態で対応していく。任期付職員の必要性は強く感じているため、きちんと進めていきたいと考えている。

Nextつくば
つかもと ようじ
(質問者) **塚本 洋二**
飯岡 宏之(代表)・塚本 洋二
木村 修寿・中村 重雄・樋口 裕大
市原 琢己・田代 優




アーバンスポーツ施設整備について

(質問) 街なかで気軽にアーバンスポーツを楽しめ多様な世代が交流できる場の整備について伺う。

(答弁) アーバンスポーツ施設の整備については、市役所南側のTX高架下を候補地とし、ボルダリング、ダンス、スケートボードなどが可能な屋外施設の整備を進めている。

(要望) TX高架下は、これまででも利活用の要望があり、良い場所だと思う。近年、アーバンスポーツの多くの種目が人気だが、ある程度の設備施設がないとできない種目もあるので、今回予定の場所以外にも施設整備を検討するよう要望する。



「コミュニティ協同組合」について

(質問) 市長所信の中で「イギリスでは協同組合の仕組みを通じ、市民自らが資金を出し合い、自分たちの手で郵便局やパブ、コミュニティスペースを守り、運営していた。行政がやってくれるのを待つのではなく、自分たちのまちは自分たちで守り、良くしていく。」などと述べられた協同組合について詳しく伺う。

(答弁) コミュニティ協同組合については、イギリスのヘプトンストールで閉鎖される予定だった郵便局やパブを地域住民が出資して協同組合を設立し、事業を継承している事例を視察した。有償スタッフとボランティアが連携して運営し、利益は近隣の協同組合へ投資するなど、地域の中で経済が循環している好事例と認識している。法制度や歴史的背景の違いはあるが、この手法は、ともに創る市政の理念にも通じるものであり、これらの知見を生かして、市民が主体となって地域の課題を解決できるような施策を進めていく。

(質問) こういった手法が、今後政策の方向性を決めるひとつの考えになるのか伺う。

(答弁) ともに創るという考えは、市民が主体となり、地域課題を解決するという、市長就任当初から掲げる市政の原点であるから、市として、この事例から学べる施策の展開を検討していく。

つくばクラブ
きむら きよたか
(質問者) **木村 清隆**
小久保 貴史(代表)・塩田 尚
木村 清隆・五頭 泰誠・神谷 大蔵
黒田 健祐・小村 政文・伊藤 文弥




活気ある地域づくり

(質問) 区域指定追加策定事業の内容と、市内全域を含めた今後の実施方針について伺う。

(答弁) 区域指定については、平成19年の区域指定以降、下水道整備が進み、新たな下水道供用区域が生じているため、既存の区域指定エリアとの整合性を図りながら追加を行う。今後は、持続可能な発展と選ばれるまちの継続のため、さらなる区域指定の追加を検討し、新たな住宅用地を創出することで、市内の住宅ニーズに対応していく。

(質問) さらなる区域指定の追加を検討し、新たな住宅用地を創出することだが、追加検討する地域の考え方、また、R8の発展のためにも、区域指定にR8周辺地域も含むのか伺う。

(答弁) 区域指定を追加する地域の考え方は、平成19年施行当時に、TX沿線開発地区への影響を考慮し、区域指定の対象外としていた区域について、今後の土地利用状況や宅地化率などを注視しつつ検討していく。また、区域指定追加策定事業については、平成19年以降、下水道供用区域が生じている市全域を対象としており、R8周辺市街地周辺も含め、検討することとしている。

※R8：つくば市合併前の旧町村時代に生活の拠点として発展してきた8つの地域(北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原)

世界のおしあが見えるまち

(質問) ①将来世代に責任を持つ市政運営のための責任と覚悟について伺う。②「世界のおしあが見えるまち」は華やかな未来だけを指すものではない。難しい判断や厳しい選択、困難な課題に直面しても目を背けず、対話を重ね、最善策を導き続ける「悩み、挑戦する姿勢」について、今後の教育に対する思いを伺う。

(答弁) ①現在、歳入は過去最高を見込むが、物価や人件費の高騰により事業費が上昇し、予算を圧迫している。そのような状況でも、市民生活の向上と市の持続的な発展に資する施策へ重点的に財源を配分し、また、将来負担を考えた持続可能な財政構造を維持するため、市債などに頼らない予算編成を行った。しかし、予測困難な状況において、全市民の幸せにつながる施策を行うためには、時に市民や職員に一定の負担をかけざるを得ない局面もある。その判断と実行に対し、今以上の責任と覚悟を持って市政運営に臨む必要があると思う。②社会の変化や子どもたちを取り巻く環境の多様化に対応しながら、教育の質を高めていくためには、教員自身がやりがいを感じながら、子どもたちに向き合うことが不可欠だと考える。教員が余裕を持ち、自らの情熱や思いを十分に発揮できる環境を整えるため、教育委員および教育局の全ての職員が現場を第一に考え、力を尽くしている。時代の変化の中で、教育に携わる全ての者が互いに支え合い、希望と情熱を持って前に進んでいくことが、世界のおしあが見えるまちにふさわしいつくばの教育であると考えている。



かわくぼ みなみ
川久保 皆実



養育費確保と親子交流支援について

(質問) 養育費の履行確保や親子交流についての見直しを含む「民法等の一部を改正する法律」が本年4月に施行される。こども家庭庁の令和8年度予算案には、①養育費受け取りに係る費用支援や②親子交流支援を市が実施する場合に、国が費用の2分の1を補助するための予算が計上されている。同法律の施行を見据え、①②の取り組みを実施する意義について見解を伺う。

(答弁) 離婚前後の家庭の支援については、令和8年4月1日施行の「民法等の一部を改正する法律」を踏まえ、市としても養育費の受け取りに関わる民事執行手続費用や弁護士費用、また親子交流を支援することは、子どもの利益を確保する観点から重要であると考える。

(質問) ①の実施を検討すべきではないか。

(答弁) 養育費受け取りに係る費用支援については、令和8年度中に実施を検討する。

(質問) 明石市などの事例を参考に、②の実施を検討すべきではないか。

(答弁) 親子交流支援の実施についても、他自治体の事例も参考にしながら、令和8年度中に検討する。

【その他の質問事項】 不登校児童生徒の成績評価、図書館の整備およびサービスの充実、自動運転バス



あおき しんや
青木 真矢



農業の担い手確保について

(質問) 農業に興味を持ってもらえるような、一般市民が農業に触れられる機会はあるか。

(答弁) 市内農業者の協力をいただき、農産物の収穫体験イベントを年3回程度実施している。また、農業者の人手不足に対応する事業として、農業に興味を持つ市民などがボランティアで農作物の収穫や出荷作業、農地の草刈りなどの農作業を手伝える機会を創出する農業サポーター制度を設けている。

(質問) 新規就農を見据えて参加できる勉強会や交流会などの場はどのようなものを提供しているか。

(答弁) 茨城県つくば地域農業改良普及センターと協力し、農業経営や栽培技術の向上を目的としたワークショップを開催している。また、市独自の取り組みとして、農業者の関心が高い内容に対応したセミナーの開催と、農業者同士のネットワーク構築を目的とした担い手交流サロンを年2回程度実施している。

(質問) 収穫期の農家の負担軽減のため、スキマバイトなどの求人サービス利用時に生じる仲介手数料への対策など、人員確保に向けた市独自の支援策を伺う。

(答弁) 農業者がスポットワーク仲介サービスを利用する際に、手数料などの一部を支援する補助制度を令和8年度から導入し、人手不足時の人員補填ができる取り組みを進めていく。

(提案) 農林水産省の「アス→ノウ」プロジェクトと市による協議体を作り、アスリート×農業のつくばモデルの確立を提案する。

【その他の質問事項】 つくば市周辺市街地チャレンジショップ



しのうち さちよ
篠内 幸代



きょうだい児支援について

(質問) 障害や病気のある子どもの兄弟姉妹「きょうだい児」は、親のケアがその子どもに集中する中で孤独や我慢を抱えやすく、成長後も葛藤が続くことがある。一方で社会的認知は十分でなく、支援も当事者や保護者中心で、きょうだいを個別に支える視点が不足している。きょうだい児の支援について、以下伺う。①きょうだい児支援の現状と課題についての認識②障害者プランにきょうだい児支援を位置づける考え③きょうだい児支援について市長の見解

(答弁) ①障害児の状況によっては、障害福祉サービスなどを利用することで保護者の負担を軽減し、保護者がきょうだい児と触れ合う時間を持つような、間接的な支援を行っている。課題として、きょうだい児は親に甘えたいときやつらいとき我慢してしまい、表面に表れない場合があることや、ヤングケアラーとして兄弟姉妹の面倒を見ているケースもあることから、さまざまな方面の支援が必要と認識している。②きょうだい児も含む家族への適切な支援が必要と認識しており、他市町村の事例を参考に検討していく。③きょうだい児は、本人が我慢をしてしまうなどで、自分の要求やニーズを形にすることができにくいと考えている。例えば、きょうだい児だけで遊べる時間を用意することなどは極めて重要だと考えるし、新たな計画をつくる際に、検討項目として入れて、市としてのきょうだい児支援の形を検討する段階に既に来ていると感じているため、そのような議論を進めていきたい。

【その他の質問事項】 巡回相談、道路の異状発見時の市民の対応、学校サポーターの活用推進



こくぼ たかし
小久保 貴史



宝篋山の麓が国指定史跡へ

(質問) 農業振興地域の農振青地・白地の面積と、増加が続く遊休農地の現状について伺う。

(答弁) 令和8年1月末時点で、農用地区域内農地、いわゆる青地は、田が4,195.5ha、畑が2,529.2ha、樹園地が2.0ha、合計6,726.7haである。農用地区域外農地、いわゆる白地は、田が650.2ha、畑が3,669.8ha、樹園地が236.0ha、合計4,556.0haである。市内の遊休農地の面積は、令和5年度末の299haから令和6年度末には417haとなり、前年度と比較すると118ha増加している。

(質問) 農振白地である宝篋山の麓での農地基盤整備の可能性について伺う。

(答弁) 地域における気運の醸成と合意形成の状況を踏まえ、実施条件が整った際には、関係機関と協力し、事業実施に向けた支援をしたいと考えている。なお、この地域には、埋蔵文化財が所在する農地があることから、その取り扱いについては関係機関との協議が必要になる。

(要望) 埋蔵文化財調査を早期に進め、農地として再生できる区域と保存すべき歴史的空間の区域を整理し、地域の将来像を描けるように、エリア全体の方向性を総合的に考えるよう要望する。



きむら しゅうじ
木村 修寿



再犯防止推進計画について

(質問) 「再犯の防止等の推進に関する法律」が平成28年12月に公布・施行された。令和3年12月定例会の一般質問で計画策定について質問し、進捗を確認してきたが、再犯防止推進計画の現在の策定状況を伺う。

(答弁) 他自治体の事例、国において令和5年3月に改定された「地方再犯防止推進計画策定の手引き」などを参考に、関係部署との調整などを行いながら、令和9年3月の計画策定に向けて、現在必要な調査、検討、協議を進めている。

(質問) 再犯防止推進計画の策定に当たっては、保護司会や更生保護女性会などの意見を取り入れてほしいが、取り入れる予定があるか伺う。

(答弁) 計画の策定に当たっては、保護司会、更生保護女性会、茨城県警察などが再犯防止に関するさまざまな知見を有していること、また、計画の推進において重要な役割を担うことが期待されることから、意見を伺うことは必須であると考えており、意見交換会などの実施を予定している。



【その他の質問事項】 防犯カメラ設置事業補助金、幼稚園



ひぐち ゆうだい
樋口 裕大



妊産婦タクシー助成事業について

(質問) 直近3年間における対象者数と利用者数および対象者のうち利用に至っていない方がどの程度いるのか伺う。

(答弁) 妊産婦タクシー利用費助成事業の対象者数および申請件数については、令和4年度は対象者2,445人のうち申請217人、令和5年度は2,472人のうち205人、令和6年度は2,311人のうち233人である。

(質問) 対象者のうちの利用者が約1割に留まっていることが分かった。この利用状況を踏まえ、制度の利便性を高めるための改善についての考えを伺う。

(答弁) 令和8年度から電子チケット方式を導入する予定である。

(質問) 電子チケットの導入時期の想定および具体的にどのような形で利用できる仕組みか伺う。

(答弁) 令和8年4月の開始を予定している。利用方法は、現在の利用者の平均利用金額から上限を2万円とし、電子チケットの組み合わせを5,000円が4回、4,000円が5回、2,000円が10回の3パターンで考えている。なお、電子チケット利用が難しい方に対しては、償還払いでの対応を考えている。

【その他の質問事項】 帯状疱疹ワクチンの助成、学校プール、文書配布アプリ、職員の処分、産後ケア重大事故発生時におけるつくば市の報告・判断・管理体制、市長の海外視察

一般質問

令和8年2月定例会議では、3月2日～4日の3日間にわたり、18名の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



一般質問 ってなあに？

議員が市長などの執行機関に対して、市政の課題について報告や説明を求めたり、政策提言などを行う場です。



全ての質問・答弁の内容はどこで見れるの？

各議員の一般質問の会議録と録画配信を市議会HPIにてご覧いただけます。

※会議録は散会日の約2か月後に公開



つくば・市民ネットワーク



かわだ あおる
川田 青星



自転車利用促進のための環境整備

(質問) 自転車は温暖化対策や渋滞緩和などのメリットがあるが、自転車と歩行者の安全のためには自転車通行空間の整備が欠かせない。今後の通行空間の整備方針を伺う。

(答弁) つくば市自転車活用推進計画において、日常利用の自転車ネットワーク路線として、研究学園駅周辺の約6.5km区間、観光利用の自転車ネットワーク路線として、北条地区や小貝川サイクリングロードまでの約15.4km区間を計画している。

(質問) 公共交通の利用促進も重要だ。自転車とバスの一体的な利用促進のためには、バス停への駐輪場併設が手段の一つであり、他自治体では「サイクル&バスライド」として取り組みを進めている。この取り組みについてどのように考えるか。

(答弁) 令和7年度3月に策定予定の「第2次つくば市地域公共交通計画」では、気候市民会議の提言なども踏まえ、バス停留所への駐輪場の整備を施策の1つとしている。バス停留所への駐輪場の設置には、道路構造令に基づき、歩道幅員が必要であることや、道路管理者、警察など関係機関との調整も要する。このことから、駐輪場の設置が可能なバス停留所の調査を実施するとともに、自治会などが駐輪場の管理を行うスキーム作りも検討する予定である。

(要望) 他自治体の事例も参考に積極的に進めるよう要望する。

【その他の質問事項】 子どもの権利を守るための取組

縁粋会



さかきばら
榎原 アリーゼ



来庁時間の削減策

(質問) 以下伺う。①市民の来庁による手続きについて、件数や所要時間②来庁前提の手続きが市民の負担である認識の有無③来庁不要で手続きや相談を完結させる仕組みの検討④③を特定の対象者に限定したモデル事業として施行する考えの有無

(答弁) ①来庁による手続きが最も多い市民窓口課での令和6年度の受付番号発券数は、年間15万2,790件、1日平均629件である。所要時間は、証明書発行、申請手続きが5分から20分程度、転入届や出生、婚姻などの戸籍届け出手続きでは20分から60分程度要する。②市民にとって時間的、経済的負担となり得ると認識しており「書かない・待たない・行かないデジタル窓口」を推進している。③市の「デジタル・ガバメント推進方針」に基づき、手続きのオンライン化を進めている。現在、約2,500手続きのうち、約460手続きがオンラインで申請可能である。今後とも来庁不要で手続きなどができるオンライン申請の拡充を進める。④庁内ニーズと合致し、利用者の負担軽減効果や利便性向上が期待できるサービスがあれば、実証の枠組みである「つくばイノベーションスイッチ」を活用し、サービス実証を行える。これまで同枠組みの中で、通知文のデジタル化などを実証し、導入してきた。引き続き、市民に有用なサービスは積極的に取り入れていく。

(提案) 本人確認を前提としたビデオ通話などを活用し、相談から手続き完結までを非来庁で行える仕組みの導入を検討すべきである。まずは子育て世代や高齢者を対象としたモデル事業の実施を提案する。

【その他の質問事項】 市内における自動車盗難被害への対応

Nextつくば



いちばら たくみ
市原 琢己



遅すぎるつくば市の介護認定業務

(質問) 以下伺う。①新規申請および更新申請について、直近1年間における申請から認定結果通知までに要している平均日数および最大日数②①についての近隣市町村や県内他自治体の現状③介護認定が遅れることへの医療機関および介護サービスなどへの影響

(答弁) ①令和7年2月からの1年間において、申請から認定結果通知までに要した平均日数は、新規申請が62.9日、更新申請が61.4日である。また、調査立会人の体調不良により、最大日数が171日かかったケースもある。②令和7年3月31日に厚生労働省が公表した令和5年度の認定審査期間は、全国平均が40.8日、茨城県平均が42.0日である。③医療機関の退院調整や介護事業所との連携、さらに、利用者の介護サービスの開始時期に影響があることが考えられる。

(質問) 令和8年度には調査員3名を増員する予定である。介護認定における申請から認定結果通知までの平均日数を具体的にいつまでに、いくつを目標とするか？

(答弁) 直近の目標として、令和8年度末の認定期間の平均日数を、48日までに短縮することを目指していく。

【その他の質問事項】 市の医療体制、就労継続支援B型、高工ネ研南側用地

つくばクラブ



勝手につくば大使
小村 政文



スポーツライミングの推進を!

(質問) つくばセンターなど市の中心地に、トップアスリートも練習できるスポーツライミングの施設整備をしてほしいが、市の考えを伺う。

(答弁) スポーツライミング施設でトップアスリートが練習する環境としては、国際スポーツライミング連盟が定めるリード競技での高さ15m、幅3mの傾斜がついた壁、ボルダール競技での高さ5m、幅30m程度の傾斜がついた壁および安全マットの設置が望ましいことから、高さを確保できる空間や相当程度の敷地を要し、調査、検討が必要と考えている。つくばセンター周辺の施設整備については、アクセスの利便性の高さや、多くの市民がスポーツに触れ、認知を高められる点など非常に利点があると考えている。一方、用地の確保や景観への影響、周辺住民への配慮など検討すべき課題もあり、これらの課題を整理して検討する必要があると考えている。スポーツライミングに限らず、つくば市にゆかりのある選手が活躍し、そのアスリートを支えていくことは、つくば市にとってとても嬉しいことであり、できる限りバックアップしたいという思いがある。市の計画では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「しる」という4つの視点を通して、全ての市民がスポーツを楽しめる環境を目指しており、まずはTX高架下へのボルダリングなどのアーバンスポーツ施設の整備を進めていきたいと考えている。

つくばクラブ



しおた ひさし
塩田 尚



住宅政策について

(質問) 全国的な物価高により建築費の高騰が続いている。つくば市では土地の価格も値上がりが続けており、手ごろかつ優良な住宅がなかなか市場になく、夫婦共働きであっても長期かつ高額のコロニーを組まざるを得ないことから、若い世代が住宅を求めるのに大変な苦勞をしていると聞いている。この苦境を救うため、市としていかなる方策を講じているのか。

(答弁) 住宅政策については、住宅を供給するための方策の一つとして、空家等の有効活用を通して、定住の促進および地域の活性化を図るため、平成27年度につくば市空家バンク制度を創設した。これまでに、空家等物件の登録が102件、利用登録者が435名あり、累計で68件の物件の成約があった。さらに、若い世代にも比較的安価に購入できる空家等の活用を促す新たな施策について、庁内で検討を進めている。

(質疑) 特に即効性のある区域指定拡大への取り組みについて、現状と今後の展望を伺う。

(答弁) 平成19年に導入した区域指定制度により、現在、約1,690haの土地が区域指定に指定されている。令和7年度はTX沿線開発地区の葛城地区周辺を対象に指定要件を調査・検討し、追加指定を予定している。制度導入時、TX沿線開発地区への影響を考慮し、その周辺部については、区域指定の対象外とした経緯があるが、現在では、土地利用が進み、一部の区域では宅地化率が上がっている状況である。このようなことから、まずは令和7年度、葛城地区周辺の区域指定の追加を行う。それ以外の地区については、今後さらなる区域指定の追加を検討していきたい。

公明党つくば



うめざわ たかのぶ
梅沢 尊信



都市型大規模災害対策について

(質問) 近年、首都直下地震など大規模災害の発生が懸念されている。人口集積やマンション居住者の増加が進む本市において、都市型災害への備えは重要である。そこで伺う。①市が想定する「大規模災害」とはどの程度の被害を指すのか。②首都直下地震などの具体的な災害シナリオを設定し、それに基づく検討や訓練を進める考えはあるか。

(答弁) ①大規模災害については、茨城県の地震被害想定に基づき、茨城県南部を地震源とする首都直下地震を想定している。被害としては、市全域で電気、ガス、水道などライフラインに支障が発生し、また、多くの人的、物的被害が生じ、市民生活への深刻な影響が及ぶ事態を想定している。②災害シナリオに基づいた訓練については、令和7年度は、首都直下地震を想定した職員の安否確認および非常招集体制の確認訓練や福祉避難所の設営訓練を行った。今後も内容の見直しを行いながら、訓練を実施していく。



【その他の質問事項】 つくば市における電子回覧板の現状と今後の在り方

つくばクラブ



いとう ふみや
伊藤 文弥



発達が気になる子の支援拠点づくり

(質問) 令和9年度開設予定の児童発達支援センターについて質問する。保育現場では発達の「グレーゾーン」の子どもが各クラスに複数名おり、専門的助言の不足や就学時の引き継ぎなど課題が多い。市内の児童発達支援事業所は5年間で29カ所から74カ所に増加する中、支援の質の担保が課題となっている。①センターの専門性を高める仕組み②民間事業所との役割分担③柔軟な利用形態④専門職を束ねる組織運営⑤つくば市ならではのビジョンについて伺う。

(答弁) ①外部研修の受講や筑波大学との連携、定期的な内部研修などを想定している。②現在協議を進めている。具体的な連携の形は今後検討する。③必要に応じて検討する。④児童発達支援センターの成否に関わる極めて重要な部分と考える。例えば、カンファレンスで使う言葉をそろえるなど、医療専門職の使用言語の統一、チームとしての行動が評価につながることも含め、多職種がいる強みを生かせるチーム設計、心理的安全性の高い組織づくり、開業前の意思統一を図る研修やチームビルディング。トップの人物も専門性だけでなく、多職種をまとめる難易度の高い仕事になるため、そこも含めて検討したい。⑤一般的な部分に加え、専門的な知見を生かし、エビデンスに基づいた支援体系を構築して、拠点となって民間事業者にも提供できる機能も極めて重要と考える。筑波大学をはじめ専門家と連携しながら、エビデンスをくみ上げ、それを成長させていくことが、つくばで児童発達支援センターを行う上での通常の支援に加えての使命と考えている。そのためにも、関係機関との連携をより深めていきたい。

日本共産党つくば



やまなか まゆみ
山中 真弓



未就学児親子中高生の居場所拡大を

(質問) TX沿線は児童館のような未就学児親子が通える場所がない。昼間空いている児童クラブ室を利用できないか。

(答弁) ロッカーなどに貼られている氏名などの個人情報保護の観点や着替えなどの私物紛失の懸念などから、開放する予定はない。

(質問) 中高生の居場所や学習スペースも不足している。フリースペースとして交流センター、かつらぎ交流館、かとりだい交流館の空き部屋を無料開放する考えはあるか。

(答弁) 現在設置しているフリースペースの利用状況などを確認し、予約が入っていない会議室の開放について検討する。

(要望) 児童クラブ室は個人情報保護の問題を解決すれば使用できる。また、コミュニティ棟は現在でも開放を実施しており、以前の吾妻交流センターでは実施していた。市内全域に広げることを要望する。



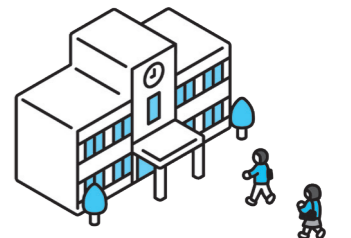
【その他の質問事項】 公共施設の再編計画、国民健康保険税、遠距離通学児童への対応、「旨がっぺ TSUKUBA」の消費期限切れ食品



小規模特認校制度の課題と改善策

(質問) 令和8年度の新たな取り組みでは教育活動を評価し、課題があれば改善するとされているが、一方で、小規模特認校制度では児童数の変動により学級編制へ影響が出る可能性もある。そこで、今後の児童数の見込みから複式学級が生じる可能性について伺う。また、仮に編制される場合、教員配置や加配、指導体制の工夫など、学習指導や児童一人一人へのきめ細かな支援をどのように確保していくのか、具体的なフォロー体制についても伺う。

(答弁) 現時点での入学希望者数から、令和8年度は谷田部南小学校、栗原小学校共に一部が複式学級となる見込みである。複式学級への対応として、市独自で教員を配置することも検討している。なお、複式学級のような異学年合同での学びは、両校とも取り入れているイェナプラン教育の理念でも大切にされており、協働性などの育成につながると考えている。教育内容に合わせて、学年にこだわらず、柔軟な編成ができるという小規模校ならではの強みを生かしていく。



市における「居住支援」の推進を!

(質問) 居住支援とは、生活困窮者や高齢単身者など、賃貸住宅の入居拒否に遭いやすい「住宅確保要配慮者」に対し、入居しやすい住宅確保と入居後の生活サポートを組み合わせた包括的な支援を行うものである。市営住宅空き住戸を活用した「居住サポート住宅」導入の可能性は。

(答弁) 市営住宅などの入居については、法令に基づき、抽せん、書類審査など一定の運用ルールがある。こうした中、他自治体においては、公営住宅の空き住戸の一部を居住支援法と連携して活用し、住宅確保要配慮者の支援に取り組んでいる事例もある。空き住戸の活用については、本市の実情と整合性を踏まえつつ、国のモデル事業や先進事例を参考に、制度内容を整理し、市営住宅の活用についても調査、研究していきたい。

(質問) 包括的な居住支援体制を作るために、行政、福祉団体、居住支援法人、不動産事業者などが協議していく場である「居住支援協議会」設置の検討状況と市長の考えを伺う。

(答弁) 庁内において、担当者が勉強会を通じて、協議会立ち上げに向けての必要性や課題の共有を図っている。要配慮者は複合的な困難を抱えているため、福祉と住宅の両部門の連携が必要である。行政に加え、不動産業者や福祉団体などマルチセクターで取り組む必要があるため、「居住支援協議会」立ち上げが必要だと考えている。先行事例に学びながら、検討を急いでいく。



人工芝の害、対策と周知を

(質問) プラスチックが砕けて5mm以下になったものをマイクロプラスチックというが、海だけでなく大気中にも拡散していることが明らかになった。環境中の有害物質を吸着しやすく、生体内に取り込まれると分解せず長くとどまるため健康への影響が心配だが、市の認識を伺う。

(答弁) 人工芝による害に対する市の認識については、人工芝がマイクロプラスチックと呼ばれる微細なプラスチックごみの発生源の1つであり、生態系を含めた海洋環境の悪化をはじめ、漁業への影響などの問題を引き起こしており、地球規模での対策が必要となっていることを認識している。また、人の健康に及ぼす影響を懸念する声や関連する研究があること、それに対し、国が実態調査などを実施していることは承知している。

(質問) 人工芝は都市部におけるマイクロプラスチックの代表的な発生源の一つだが、環境や市民の健康のため、流出抑制対策を行い、公共施設での使用を控え、市民への周知も必要と考えるがいかがか。

(答弁) さまざま調査し、正確な情報の普及、啓発方法を検討していく。

【その他の質問事項】 教育を巡る変化と子どもたちの意見反映



高エネ研南側用地の買戻しについて

(質問) 現在の土地利用計画は、1割だけが防災拠点などの市民利用で、残りの9割はデータセンターで「市民のための土地利用」の約束は守られていない。データセンターは研究施設ではなく、一定の税収は見込めても、雇用は限定的で、環境や景観への悪影響が懸念されている。66億円の購入金の利払いは年に5000万円程度で歳出の0.05%で大きな負債ではない。市民と研究学園都市の未来のために引き継ぐ方が良いと思うが、市長の見解を伺う。

(答弁) 66億円は極めて大きな負担だと認識している。そもそもこの土地は、突如総合運動公園の用地として購入をすることになってしまった土地であり、その際は、住民説明などもなく突然構想が出され、議会でもその賛否が大きく割れた案件であった。そのような状況で66億円もの税金が流出してしまっており、それについて、そのまましておくのではなく、いかにしてそのダメージから回復するかを考えるのは、市長として当然のことだと考えている。

【その他の質問事項】 長期のインフラ（社会・経済活動を支える基盤となる施設や設備）整備と市の財政についての基本的考え方、市長の高額すぎる退職金の問題、都市計画道路の妻木金田線がつくば市の担当する箇所が遅延により未開通になっている問題、市長の海外出張、市役所のガバナンス問題

ちょっと気になる、議会のハナシ 議会トピックス

Topics 1 「もっと身近に、分かりやすく」議会だよりを全面刷新!

市民の皆さんにとって、より開かれた議会を目指し、このたび「議会だより」を大幅にリニューアルしました。表紙のデザインを一新し、誌面には写真や図解を豊富に取り入れることで、議論の内容を直感的に理解できる構成に工夫しています。視認性と親しみやすさを追求した新しい誌面を、これからもよろしくお祈りします。



Topics 2 発達障害・防災対策に関する勉強会を実施

つくば市議会では、議員全体の知見を高めるため、定期的に勉強会を実施しています。

令和8年1月13日には発達障害について小児整形外科医の中川将吾氏から、同月22日には防災対策について危機管理課から説明を受けました。

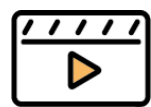


危機管理課による説明

Topics 3 筑波山地域ジオパークに関する研修会に参加

令和8年1月20日、筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会研修会が開催され、つくば市議会からも議員24名が参加しました。

研修会では、桜川市におけるジオパークの取り組みを視察するとともに、「ジオツーリズムを活用した地域活性化」などについての講義を受けました。



動画配信中!
つくば市議会
チャンネル



チャンネル登録お願いします

議会だよりはオンラインでも
ご覧いただけます(発行日に公開)

改善アイデアを募集中!

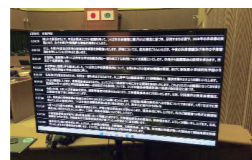


傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。議会の傍聴にぜひお越しください。

発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。

手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議会局へお申し込みください。



傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。

議会局 議会総務課
電話 029-883-1111 (内線 6111~6114)
FAX 029-868-7635

傍聴のご案内



本会議は生中継・録画映像を、委員会は録画映像をご覧いただけます。

映像配信



6月定例会議開催予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3 議案上程 14:00~	4	5	6
7	8	9	10 一般質問 10:00~	11 一般質問 10:00~	12 一般質問 10:00~	13
14	15 一般質問 総括質疑 10:00~	16	17 委員会 総福 9:00~	18 委員会 市部 9:00~	19	20
21	22	23 予算決算委員会 10:00~	24	25	26 討論・採決 10:00~	27

総務文教 福祉保健 市民経済 都市建設
※開始時刻は変更される場合があります。市議会HPをご確認ください。

議員をもっとみぢかに!

一問一答

最近のマイブーム

五頭 泰誠
(つくばクラブ)

朝食にオクラと納豆と鰹節とネギを入れて混ぜ混ぜ、朝ご飯を食べます

山中 真弓
(日本共産党つくば)

議会がひと段落したら、ご褒美に日帰り温泉(銭湯も可)の旅でまったりすることです。

酒井 泉
(新・つくば民主主義の会)

犬との散歩。毎回、どこへ行きたい?どこへ行こうか?ウェスティとの語らいを楽しんでいます。

木村 清隆
(つくばクラブ)

アガベや盆栽など植物を育てることもです。気づけばあれもこれもと増えていく、終わりのない楽しさにハマっています。

小森谷 さやか
(つくば・市民ネットワーク)

オンラインで図書館の本を予約、市役所コミュニティ棟で受け取る。話題の本は300人待ちのことも。気長に待ちます。

小村 政文
(つくばクラブ)

週末のテニスです。ダイエット目的で始めたのに、ラーメンを食べる言い訳化してきたのはヒミツ。

伊藤 文弥
(つくばクラブ)

野菜たっぷりの料理です。自分たちで育てた野菜や卵をとにかくたくさん食べたくて、料理の時間を楽しんでいます。

川田 青星
(つくば・市民ネットワーク)

夜のランニングです。秋までにフルマラソンを完走することを目標に、体力づくりを頑張っています!

木村 修寿
(Nextつくば)

温泉で心を癒し、その地域の食材に触れたい。

高野 文男
(創生クラブ)

「孫の成長」昨年1月に長男の娘、10月に長女の娘が生まれ、2人の孫娘が成長する姿に日々感動しています。

川久保 皆実
(つくばチェンジチャレンジ)

週末にボードゲームで遊ぶことです。子ども相手でも忸度なしの真剣勝負で、勝敗に一喜一憂しています。

梅沢 尊信
(公明党つくば)

チャーハン作りです。ラード、ネギ、自家製チャーシュー、ナルト、塩、胡椒、中華だし等の調味料で、味を整えます。

榊原 アリーゼ
(緑粋会)

人との語らいの時間。対話から力を頂いています。

塚本 洋二
(Nextつくば)

相撲部屋の動画鑑賞

黒田 健祐
(つくばクラブ)

スーツ 昨年初めてオーダーで作し、生地の種類やデザイン、国ごとのスーツへの考え方の違いなど奥深く勉強中です。

川村 直子
(つくば・市民ネットワーク)

自家製堆肥で観葉植物や野菜を育て中。成長の発見が楽しく、苗を仲間に分けて喜ばれるのも嬉しいです。

青木 真矢
(ワニナルつくば)

スポーツ観戦です。今年は様々な種目の世界大会が多い年ですので、特に注目しております。

田代 優
(Nextつくば)

せいろ蒸しで旬の食材を楽しむことが、最近のマイブームです。

飯岡 宏之
(Nextつくば)

朝の連続テレビ小説を観ることです。出演者の多才な演技力に、毎回感動しています。

神谷 大蔵
(つくばクラブ)

肩こり・腰痛が酷いことから、毎朝ストレッチ(専門家指導)を始めました。お陰様で毎日快調です!

中村 重雄
(Nextつくば)

ドライブが最近のマイブームです。ゆっくり都会や自然の中を走り抜けて行く時間が私にとっての癒しの時間です。

篠内 幸代
(公明党つくば)

チーズケーキと辛いものを食べるのが日々の楽しみで、色々辛くして食べるのが最近のマイブームです。

市原 琢己
(Nextつくば)

仕事、ゴルフ、時々お昼飲みしています。

塩田 尚
(つくばクラブ)

筋トレに水泳に読書に詩吟。体と頭をバランスよく使うことが日課で、どれも欠かせない日々の楽しみになっています。

小久保 貴史
(つくばクラブ)

ワインを楽しみ勉強しています。葡萄栽培や醸造を知るほど、一次産業の奥深さと地域の力を改めて実感しています。

あさの えくこ
(つくば・市民ネットワーク)

ダーニング(イギリス発祥?)のお直し。不器用でもカラフルな糸でそれなりに蘇り服や小物を捨てることが減りました

渡辺 峰子
(公明党つくば)

コーヒーを豆から挽いて淹れる。朝の数分だけ、生活の速度を落としています。

樋口 裕大
(Nextつくば)

AIを使って作詞作曲をしています。最近では私のオリジナルソングを制作し、各種配信媒体に掲載しています。